

# 光星高常勤講師の笹井さん（むつ出身）



# 3人制プロバスケット担当審判に

八戸学院光星高常勤講師の笹井（むつ）さんが6月末、青森県内で初めて、日本バスケットボール協会公認の3人制プロリーグの担当審判になった。5人制バスケの審判員としても活躍する笹井さんは、「青森のバスケが盛り上がる一助になりたい」と意気込んでいる。

（磯野雄太郎）

## 古里の競技発展へ意気込み

笹井さんは県立大湊高2年の時に5人制の審判活動を始めた。八戸学院大2年時には、全国など上位大会で審判を務めることができ、A級ライセンスを、当時国内最年少で取得した。

3人制バスケットボールのトップリーグの担当審判員になった笹井（むつ）さん

今回、3人制プロリーグの審判を志したのは「八戸ダイムが発足して地元が盛り上がる中、県内に3人制を吹っ飛ばす審判がいらない。ならば自分が挑戦しよう」という思いから。1次試験のルールテストを終え、6月24日にフラット八戸で行われた、八戸ダイムのホームゲームが実技試験となった。3人制の実践練習の機会は少なかったものの見事合格。国内54人の担当審判の一人に名を連ねた。担当できる試合は国内トップの二つのプロリーグで、笹井さんは8月以降の試合でデビューする予定。展開の早さや観客、選手との近さという5人制との違いを感じながらも「選手にけがなく、無事に試合を終わらせることが目標の一つだ」と話す。現在、八学光星高男子バスケット部でアシスタントコーチを務めており、「3人制でも5人制でも自分がトップリーグで経験したことをチームに還元したい」と、古里の競技発展へ思いを高ぶらせている。